



出会い・ふれあい・語り合い
～みらいよりあい～

未来寄合トライアル【北小校区】初回を開催！

1月16日（木）の夜、くすのきの家にて第1回「未来寄合トライアル（北小校区）」を開催しました。参加者は、市民のみなさんと事務局スタッフを含め27名でした。

令和4年度から開催してきた「未来寄合」を踏まえ、次のステップとして「地域の新たな組織や仕組みのあり方」について対話し、令和7年度以降に試行・実践することを目指して開催する「未来寄合トライアル」。初回のこの日は、これまでに出了れた地域課題とその解決アイデアや、北小学校区で実施した「未来に向けたみんなの地域づくりアンケート」の集計結果などを共有したあと、参加者全員で輪になって自己紹介をし合いました。

後半は、4班に分かれ、地域の「問題」を掘り下げ、どんなゴールになったらいいか（理想像）を、付箋に書いて貼り出しながら、そのギャップを埋めるために取り組むべき「課題」について意見交換し、全体発表で共有しました。

北小校区 トライアル ①

「地域で何が問題？」現状と課題の共有からスタート

オープニング



伊藤市民協働部長

これまでの未来寄合を踏まえて、今年度の「未来寄合トライアル」は「**新たな組織や仕組みのあり方**」について対話し、令和7年度に実践・試行していくことを目的としています。

まずは北小学校区で取り組み、他の小学校区にも広げていければと考えています。

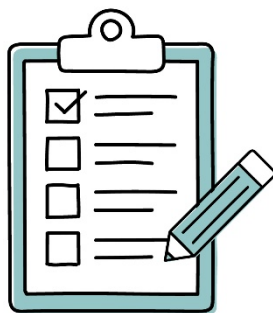
小学校区単位などで課題解決に取り組む仕組みができるといいなと考えています。どんな組織や仕組みがあるといいか、実際に行動（トライアル）をしてみながら検証していけたら…。



協働安全課 植手さん

プチレクチャー（前提共有）

これまでの未来寄合で出された意見などを紹介したあと、2つのアンケート調査①地域住民対象（配布数 700、回答率 34.1%）、②区長等の役員経験者対象（配布数 92、回答率 65.2%）の結果を共有しました。

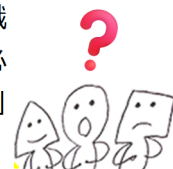


区役員経験者アンケートでは…

- 85%が、「次の役員を探すのが大変」と回答。
- 担い手不足解消や負担軽減の方法として、77%が「活動内容を見直す（縮小、廃止を含む）」、52%が「活動の運営方法の見直し」と回答。
- 北小校区で今後必要なこととして、「防災」47%の次に多かったのが「女性や若者が関われる仕組みづくり」の43%。

地域住民アンケートでは…

- 日常で「防災に不安を感じる」は5割弱。「防犯に不安を感じる」は4割弱。
- 区や町内会活動がうまくいっていると「思う」「ややそう思う」人は約6割。
- 町内会の改善点として「活動の担い手がない」「役員の負担が大きすぎる」を選択した人は5割弱。
- 町内会で女性や若者の声をもっと反映されるべきと「思う」「ややそう思う」人は3/4。
- 町内会に代わる新たな組織や仕組みについて検討が必要だと「思う」「ややそう思う」と回答したのは、約2/3。



ぐるっと自己紹介

「こんなことしています！」と「こんなことなら役に立てるかも！」、「参加理由」を全員で自己紹介。

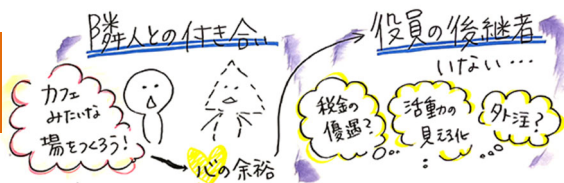


グループワーク

「持続可能な地域づくりに向けて、北小校区で取り組むべき課題は？」をテーマに、「■現状の問題の深掘り」と「■こうなったらいい！（近い未来のゴールのイメージ）」を付箋に書いて出し合い、その「ギャップ」を埋めるための「課題」について考えました。



知り合う 交流する



役員が見つからないのは、近所づきあいが弱いから。ヨーロッパの街角にあるカフェみたいな集まる場所をつくったらどうか。例えば、防災の芋煮会など人が集まることをどんどんやっていけば…

知り合える場所、機会を増やしていくことで、自分のことしか見えない心の余裕がない状況から、思いやりの気持ちにあふれた、住み続けたい岩倉市にしていきたい。

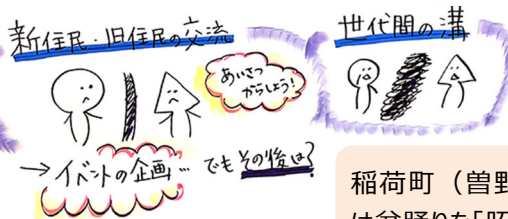
ふれ愛まつりなどで自分達がやっていることのブースを出してみたり、楽しいことを皆さんと共有することが人と人のつながりの第一歩。

伝える

役員の活動の見える化をし、内容を見直し、女性もたくさん参加してもらえようになりたい。

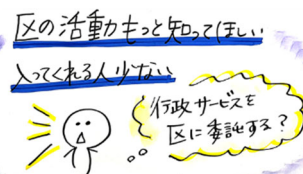
地域の活動が伝わっていないので、紙やオンラインでどんどん情報発信。やれる人がいなければ外注化したら！

旧住民と新住民、世代間に溝がある。高齢者や子育て中の人…ふらっと寄れるサロンのような場所があると良い。また、子ども達がボランティアに携われるチャンスをつくりたい。

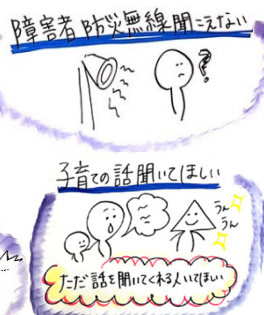
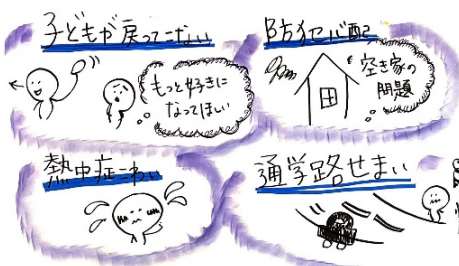


仕事・活動の見直し

稲荷町（曽野小校区）は盆踊りを「昭和会」の協力で盛り上げている。また、商工会青年部、消防団等の協力を得て盛り上げたらどうか。



その他・・・



連携・外注

今は区に入っても入らなくても同じ行政サービスを受けられる。区に行政サービスを委託することで差別化し、区加入を促せたら…



ひとこと アンケート より

普段お会いしない方々と世代を超えてお話ができてよかった／メンバーが多いため、広範かつ意義深い発言があり、具体的な展開につながることに期待している／いろいろな方向で解決策を考えることが大切。コミュニティスクールができたが、教育委員会と協働安全課が一体化すれば、もっと素晴らしいことができるのでは ほか

岩倉市役所 協働安全課（須藤・植手）

TEL (0587) 38-5803

FAX (0587) 66-6380

✉ kyoudouanzen@city.iwakura.lg.jp

*本事業の財源として、愛知県の「元気な愛知の市町村づくり補助金（人口問題対策枠）」を活用しています。